

TOPIX

- ▶ 医療総合支援部・総合診療研修部の紹介／総合内科・医療総合支援部長・総合研修診療部長 笠井 昭吾
- ▶ 病理診断についての紹介／病理診断科 部長 飯原 久仁子
- ▶ 着任のごあいさつ／眼科部長 地場 達也
- ▶ 骨粗鬆症地域連携パスへの取り組み／脊椎脊髄外科 医員 早坂 豪
- ▶ 円滑な地域医療連携のために病院薬剤師ができること／薬剤部 副薬剤部長 伊藤 典子
- ▶ 第13回医療連携講演会のご案内・糖尿病教室のお知らせ
- ▶ 外来診療担当表
- ▶ 総合医療相談室のご案内

## 医療総合支援部・総合診療研修部の紹介

総合内科・医療総合支援部長・  
総合研修診療部長 笠井 昭吾



**はじめに：**先生方には、日頃大変お世話になりありがとうございます。昨年より地域連携室長を務めております笠井昭吾と申します。当院に勤務し20年目になります。今年度より医療総合支援部長および総合研修診療部長を務めることになりました。いったいどんな部門なの？と思われるかもしれませんが、医療総合

支援部は、病診連携・病病連携の入り口の役割を果たす地域連携業務、患者さんのサポート窓口である総合医療相談業務、退院調整・医療と介護の連携を行うソーシャルワーク業務を行っています。総合研修診療部は、今年4月に新たに作られた部門で、地域医療に貢献する医師の育成を行う事を目的とし、そのための研修プログラムを作成、研修医の教育を行います。また2017年度より始まる新専門医制度下での、内科領域・総合診療領域での後期研修プログラムの作成も行っています。以下に2つの部門の役割と取り組みを紹介します。

**医療総合支援部：**今年度より岩田裕子医師が加わり医師2名、伊藤美智子看護師長、三吉明以下5名の事務員、ソーシャルワーク部門は柳田千尋と園田恭子のMSW2名の体制で運営しています。「顔の見える連携」をモットーに、先生方のご依頼に迅速に対応できるように、また、新宿区の緊急一時入院病床確保事業を始め、地域の後方支援病院として、「困ったときは東京山手」と考えていただけるように、いっそう努力していきますのでよろしくお願い致します。

**総合研修診療部：**地域医療機能推進機構(JCHO)の重要な使命の一つに、地域に貢献する医師の育成があります。この方針のもと、当院では総合診療・家庭医研修プログラムによる後期研修を開始しています。「地域密着型の研修」として、新宿ならではの都会の地域医療を学ぶ研修で、今年度より2名の後期研修医を迎えています。2017年度から始まる新専門医制度下での後期研修に関しても、基幹施設として、内科専門医、総合診療専門医領域の後期研修を行うべく準備を進めています。ここでも、「地域密着型の研修」として、専門性を持ちつつ総合医・家庭医マインドを持つ医師を育成することを目標としています。地域の先生方にも、指導医として若い医師の教育にご協力頂き、地域連携・

医療介護の連携を実践する中で、地域として後期研修医を育成していきたく考えています。

### 地域連携パス：慢性呼吸不全地域連携パス

当院ではこれまでに地域連携パスとして、脳卒中と大腿骨頸部骨折のパスが運用されています。また新たに骨粗鬆症の地域連携パスも運用を開始します。それに加え、現在、慢性呼吸不全地域連携パスの作成に取り組んでいます。COPDや間質性肺炎により呼吸不全を有する患者さんの、呼吸機能や心機能を評価し、呼吸法の習得、吸入指導、必要時在宅酸素療法の導入と身体障害申請などを行います。安定期は地域の先生方のところでフォローしていただき、急性悪化時は当院で入院対応させていただきます。パスの作成に際し、地域の先生方のご意見を頂きながら今年度中に完成させ、来年度より運用開始を目指しています。

### おわりに：

「患者様一人一人を大切に」「若手医師とともに現場で汗をかく」が自分のモットーです。今後ともよろしく願います。最後になりますが、新たに医療総合支援部・地域連携室に加わりました岩田よりご挨拶させていただきます。

### 医療総合支援部スタッフよりご挨拶

はじめまして、岩田裕子です。千葉大学医学部卒業後当院にて初期研修、今年4月より引き続き後期研修中です。以前、大学病院で4年間看護師として働いていました。多岐にわたる疾患の患者さん、ご家族と関わる中で、病院での専門医療



も重要ではありますが、自分はその前後の慢性期を支える地域のかかりつけ医、家庭医になりたい、特に高齢者医療に携わりたいと思う気持ちが強くなり医師を志しました。医師3年目となった今も同じ気持ちですが、当面は病院で幅広く急性期診療を学びたいと思っています。今年4月より医療総合支援部・地域連携室の活動も行ない、笠井室長とともに、先生方とのより良い病診・病病連携を目指し、この病院にきて良かったと患者さんに感じて頂けるよう自分にできることを模索中です。未熟者ではありますが、誠意と信念は誰にも負けない気持ちで試行錯誤しながら日々過ごしています。ご指導のほどどうかよろしくお願い申し上げます。



#### ★当院病理診断科について

東京山手メディカルセンターのホームページの診療科別項目に病理診断科も掲載しています。医療関係者以外にも読んでいただけるように記載しました。当院病理診断科の状況がある程度お伝えしているので、是非見て頂けたらと思います。

#### ★病理診断科標榜について

平成20年(2008年)4月より医療法厚生労働省令で標榜することが可能になりました。当院は平成26年10月より標榜することになり、標榜にあたっては外来コーナーがあることが必要なので、当院では水曜日の午後13:00-14:00の枠がとられています。実際はセカンドオピニオンを受けることとなりますが、病理組織診断については、病理医同士がともに鏡検して検討することが望ましいと思います。

#### ★病理診断のプロセス

病理組織診断は、提出された組織片を観察しどこを切り出すのかを決定して、プレパラートを顕微鏡的に観察し診断をこころみます。とくに生検組織についてはときに径1mmの組織から、病態の情報を読み取るようになります。生検などの小片から情報を読み取ることは、必ずしも容易ではありません。ときには一つの像を過剰評価して誤診断することもあり、患者さんを直接診療している臨床医の情報を正確かつ丁寧に読み解いて顕微鏡的診断をしていく必要があります。直接患者さまを診療している臨床医は全体の状態を観察しさらに採取する局部と周囲との関係も観察することができるため、ある程度の予測ができる状況ですが、病理医は組織片のみをみているので、患者さんの病状や全体の放射線画像などを推測して考えていくことになります。鏡検しながら、この腫瘍はどこの原発なのか、この細胞はどうしてこのような異型がみられるのかなど顕微鏡と向き合いながら病理診断をします。臨床医に問い合わせをしてはじめてエー！そんな背景がある患者さんですか!! などをすることがあり、一気に組織像が理解されることがあります。手術材料の報告書を作成するにあたっては、外科医の知りたい点と病理医の興味のある点と異なることがあります。病理医は腫瘍病変をみると、原発部位はどこか、発生組織は何か、またどのような悪性度の腫瘍かなどに重点をおいてプレパラート観察をしがちです。外科医が最重要とする点は、切除断端で腫瘍が取り切れているのかなどです。患者さんを診療している臨床医からすればできるだけ早く、腫瘍の種類と断端についての情報を知りたいところですが、病理医は腫瘍がどんな種類なのか原発として問題がないかなどにとらわれがちで、典型でないときにはなかなか診断報告書が書けなくなってしまうことがあります。いろいろと調べているうちに時間が経ってしまい、報告書はまだですか！と問い合わせがあることもあります。とりあえずの報告書さえも書くことができなくなっているときは、お互いの意思疎通を円滑にすることで、風穴があくことがあります。

顕微鏡をみればすべてピタリとあたるといのは伝説です。

前記したようにいずれも臨床情報が大変重要です。お互いに意思疎通がより円滑にできる環境をつくる努力をしていきたいと思っています。

#### ★病理診断の役割

臨床医から提出された組織片について顕微鏡的に検討し、報告書を作成が、臨床診断にcompatibleであることを確認することも一つの役割ですが、違う観点からも観察して臨床的に見落とされたりあるいはかくれている情報を組織片から読み取ることも重要な役割です。クリニックの先生達は病理医と話し合いをする機会が少なく、病理診断報告書をみて疑問に思うことも少なからずあると思います。病理医と病理組織標本をみて病理医の考えや意見を聞くことにより、診療内容がより明瞭になり、診療方針がより明確になってくることがあります。病理診断がぐらつくとも臨床医は疑心暗鬼となり、診療にも陰をおとすこととなります。疑問があるときは、積極的に病理医にfeed backしてともに検討して頂きたいと思っています。

病理診断はときに診療の後押しを、ときに診療の方向を指示する役割があります。

病理解剖は、診療内容の確認と反省を促し、その後の診療に役立つ情報を提供することにあります。

#### ★病理診断科の現状

周知の事実ではありますが、常勤病理医がいる施設は全国的に少ない状況です。総合病院でも常勤病理医が不在な病院が多数あり、病理検査室の設備をもたない病院は検査所に提出して病理診断報告書だけを受け取っている状況です。

病理診断科は前記しましたように診療科として標榜するようになりましたが、(日本では)直接患者さまを診ない科であり、医療関係者以外には理解しにくい科です。日本では病理医はまだ不足している状況であり、病理診断は診療において今後ますます必要となります。よりよい診療のためにも臨床医と病理医の連携のとれる環境を整備していく必要があります。

#### ★当院の病理診断科

当院は、病床数418の規模の病院ですが、病理組織診件数は年間6200件ほどあります。一般的には病理組織診断数は病床数X10件程度と言われているから、病床数の規模からすると組織検体数は大変多い病院です。

当院のように組織検体数で臨床科が多数あり、多種類の病理組織を一人の病理医で診断していくことは困難です。当院では立地条件がよいので、専門性の高い非常勤の先生に立ち寄ってもらえる環境であり、多数の病理医と症例検討することが可能です。当院病理診断科は施設も充実してきており、診断に必要な免疫組織化学的検討を詳細に施行しています。PCRなどの遺伝子検査も他病院と連携して検討できる状況であり、将来的には当院でもPCR検討までは可能となる予定です。病理診断に疑問があるときや、詳細に知りたいことがありましたら当院当科に積極的にご相談ください。





2015年8月より眼科に着任いたしました地場達也(ちばたつや)と申します。私は1994年に山梨医科大学(現山梨大学)を卒業後、母校の眼科に入局し、今年で眼科医22年目となります。専門は緑内障で、医局関連病院勤務後、2006年より米国カリフォルニア大学サンディエゴ校ハミルトン緑内障センターに2年留学し緑内障の基礎研究に従事しました。その後母校で緑内障の臨床や研究を行い、医局長、病棟医長、講師を経て、この度JCHO 東京山手メディカルセンター眼科にお世話になる事となりました。山梨県の人口は85万人ですが、近隣県を含んだ広範囲から重症や特殊な眼疾患が大学病院に紹介されるため、長年の大学勤務中に幅広い分野の眼疾患治療を経験させて頂いたことが、今日の私の眼科診療を大きく支えていると考えております。白内障手術はもとより、各種の緑内障手術、眼瞼手術、網膜疾患に対する抗VEGF硝子体内注射、また、ぶどう膜炎や視神経疾患に対するステロイド療法、眼窩炎症疾患の治療も行います。白内障手術は、原則1泊2日の入院で行っていますが、諸事情により長めの入院をご希望される場合にも可能な限り対応します。

外来診療は、常勤の私と非常勤医師3名の診療体制で行っておりますが、常勤医師の増員など眼科診療体制を徐々に充実できればと考えております。午前は外来診療、午後は予約制で検査、手術を行っております。特に木曜日午前の外来診療は、ぶどう膜炎の専門家で日本眼炎症学会評議員、JCHO東京新宿メディカルセンター診療部長の藤野雄次郎先生に診療頂いており、患者様をご紹介頂ければ幸甚に存じます。また、各種緑内障症例や正常眼圧緑内障で点眼治療にも関わらず視野障害が進行する症例なども、お気軽にご紹介頂き病診連携を築かせていただければ幸いです。

緑内障は、2001年の緑内障学会の疫学調査で40歳以上の20人に1人と頻度の低くない疾患で、現在、中途失明原因の第1位となっています。視野障害の多くはゆっくり進行し、視野の相補性や補完性から症状も少ないため、緑内障患者の約9割は医療機関を未受診と推定されています。正常眼圧緑内障の頻度が多く、実際、私のまわりにも緑内障を患っている眼科の先生は少なくない印象です。緑内障診療を日常的に行っている眼科医でさえも顕微鏡手術で偶然見づらさを自覚してから、検査で自分が緑内障だと分かり顕微鏡手術に対する挑み方が変わったり、また、光干渉断層計(網膜の断面像を見る事ができる)にて偶然検査をした所、正常眼圧緑内障である事がわかり、点眼を始めたが忙しさや自覚症状に乏しい事から点眼を中断している場合など、まだまだ多くの課題を含んだ疾患です。治療は、まず点眼にて眼圧を下降させ視野障害の進行を遅らせますが、3種類点眼した場合、点眼間隔を5分程度あけるため合計15分程度を要する事となりQOLの低下につながります。手術療法で視野障害が改善するわけではなく、手術の合併症を考慮した場合、医師側、患者側双方が眼圧を下降させる手術療法に対して消極的になりがちですが、手術療法により視野障害の進行を遅らせる場合も多く、手術療法を積極的に緑内障治療の選択肢として挙げておくべきと考えております。

大学病院で多くの緑内障症例の手術を担当させて頂いた経験を生かして、新宿区の地域医療に貢献できるよう努力していく所存ですので、何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

大学病院で多くの緑内障症例の手術を担当させて頂いた経験を生かして、新宿区の地域医療に貢献できるよう努力していく所存ですので、何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



アカツメクサ

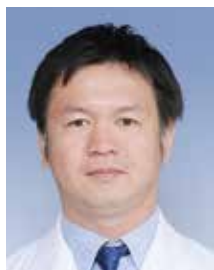


アカバナノユウゲシヨウ

## 病院の窓辺から

ボランティアの皆様が病院の廊下に季節の写真を飾ってくださっております。ふと壁に目をやると、殺風景な白い壁に素晴らしい自然を捕えた写真があり、こころ癒されます。

写真提供 島田 博様



### ●ロコモティブシンドロームとは

ロコモティブシンドロームという言葉聞いたことがあるでしょうか？メタボリックシンドロームは、高血圧症、高脂血症、糖尿病、肥満等により心筋梗塞や脳梗塞の危険性を高めることから、世間一般的にも広く認知されるようになりましたが、ロコモティブシンドロームについては、未だに認知度が低いのが現状です。ロコモティブシンドローム(通称：ロコモ)は、日本整形外科学会が中心となり提唱したもので、「運動器障害により要介護の状態や要介護のリスクが高い状態」をいいます。ロコモティブとは、英語で「機関車」を表し、機関車のように力強く前進するという意味です。言い換えるならば、寝たきりの状態を減らし、元気で自立した生活を目指すことです。平成25年度における厚労省の国民生活基礎調査によると、要介護の占める割合は、脳血管障害が約2割と最多ですが、要支援については、関節疾患が第1位、骨折・転倒が第3位と整形外科疾患が大半を占めています。転倒予防が骨折リスク減少につながることは、周知の事実ですが、重要な点は、既存骨折を有する患者さんに対して継続した治療が行われているかどうかです。

### ●骨粗鬆症と生活習慣病

我が国の骨粗鬆症患者数は約1280万で、日本人女性のうち、50代後半の約2割、80歳では約半数が罹患していると推定されます。このままのペースで推移すると、2020年には約1500万人に達し、生活習慣病である高血圧症が約3970万人、高脂血症1410万人、糖尿病820万人と並んで骨粗鬆症患者さんは多いです。骨粗鬆症は、加齢に伴う疾患と考えられがちですが、最近の研究において生活習慣病との関連が明らかになってきたので少し説明します。発生機序としては、閉経に伴いエストロゲン低下が起こり、骨は脆弱化します。さらに、生活習慣病は、活性酸素産生亢進により酸化ストレスが増加し、酸化ストレスは骨質劣化を惹起します。骨粗鬆症と生活習慣病は、共に骨脆弱化・骨質劣化による骨折リスクを高め、ひとたび骨折を発症するとADL低下による骨粗鬆症悪化および生活習慣病の悪化という負の連鎖が生じます。負の連鎖を断ちきるためには、骨粗鬆症も生活習慣病と同様に予防と治療が必要です。



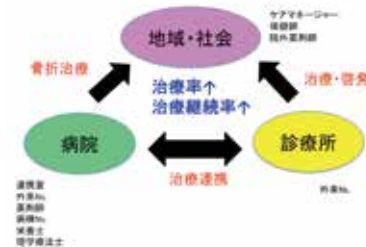
### ●骨粗鬆症治療の現状

骨粗鬆症治療の治療目標は、健康寿命を縮めたり、生存率を下げたりするような重大な骨折の予防です。骨粗鬆症は「沈黙の疾患」と言われており、自覚症状が乏しいため医療機関への受診が遅れることが多いです。実際に、骨粗鬆症患者の大半は、「自分が骨粗鬆症とは思わない」と感じており、2010年度の骨粗鬆症検診においても受診率は4.4%と低く、

2011年度のメタボ検診率が45%であることと比較しても非常に低いです。さらに、ADLやQOLを低下させる大腿骨頸部骨折においては、骨折後の骨粗鬆症治療は2割にも満たないとされており、この事実は医療者側として課題です。このような問題を解決するためには、患者側への啓蒙・啓発を行うと同時に、われわれ医療従事者の意識改革も必要です。

### ●骨粗鬆症リエゾンサービスの必要性

骨粗鬆症治療には、主に運動療法、食事療法、薬物療法があります。運動療法は、骨密度を増加させるだけでなく、骨折予防効果があると考えられています。運動療法の指導や実施は、主に理学療法士が担当します。次に、食事療法は、適正カロリーとタンパク質の摂取および、カルシウム・ビタミンD・ビタミンKを摂取することが、骨量や筋肉質の維持に重要です。これらは、主に栄養管理士が担当します。そして、薬物療法ですが、現在さまざまな種類の骨粗鬆症治療薬があります。医師が患者さんに適した治療薬を選択しますが、薬の種類によっては副作用が起こることもあります。薬の副作用や注意点などの指導を行うのが薬剤師で、注射などは看護師が行うことが多いと思います。このように、医師を初めとした多職種のメディカルスタッフが連携して、骨粗鬆症の予防と改善および骨折防止に努めることを骨粗鬆症リエゾンサービスといいます。当院には骨粗鬆症リエゾナーズがあり、脆弱性骨折の早期発見と骨粗鬆症の検査・診断・治療を一緒に行っております。



### ●骨粗鬆症治療と地域連携

当院は、骨折患者さんの受入れおよび手術を行っております。特に、大腿骨近位部骨折の手術後は、可能な限り骨粗鬆症治療を開始します。また、当院では大腿骨近位部骨折連携パスを2006年より開始し、現在では、術後の患者さんは円滑にリハビリ病院へ転院することが可能となり、病床回転率が効率化されるようになりました。連携パスの重要性と効率性を再認識したところでした。今回、大腿骨近位部骨折連携パスに続いて、骨粗鬆症連携パスを立ち上げました。これを実践するにあたっては、一つの医療機関のみでは限界があり、近隣医療機関との協力が必要不可欠です。連携医の先生方と共に骨粗鬆症治療率と治療継続率を高めていく必要があります。骨粗鬆症患者さんの治療相談等ございましたら、御紹介頂けますようお願い申し上げます。また、診察なしでの骨粗鬆症検診(DEXAなど)が可能となるように準備を進めております。連携医の先生方と協力して、骨粗鬆症の治療をしていく所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

骨粗鬆症地域連携パス

| 連携機関   | 連携内容                       |
|--------|----------------------------|
| 当院     | 骨粗鬆症治療の中心機関として、診断・治療を行う。   |
| リハビリ病院 | 術後の患者さんの受け入れとリハビリテーションを行う。 |
| 薬局     | 薬物療法の指導と薬の調剤を行う。           |
| 栄養士    | 食事療法の指導を行う。                |
| 理学療法士  | 運動療法の指導と実施を行う。             |
| 看護師    | 注射などの医療行為を行う。              |
| 薬剤師    | 薬の副作用や注意点などの指導を行う。         |
| 地域・社会  | 治療の支援を行う。                  |





平成26年の病院組織変更後、医療技術職としては初めての人事異動で平成27年4月に、東京山手メディカルセンター薬剤部に副薬剤部長として着任しました。3月までは、同じ独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)群馬中央病院に、二十数年勤めていました。着任当初は、不慣れな東京での一人暮らしに、しかも職場は大都会新宿！(新宿と聞いただけで、ちょっとビビってしまいました)文字通り右も左もわからず戸惑うことも多くありましたが、皆様に温かく迎えていただき、なんとか今日を迎えております。まだまだ未熟者ではありますが、人との繋がりを大切にし、一つひとつ与えられた課題をクリアしていこうと思っておりますので、よろしくお願いします。

さて、医療連携「つつじ」にご挨拶の機会をいただきましたので、東京山手メディカルセンター薬剤部について、すこし紹介したいと思います。現在、私を含め14名の薬剤師がおります。今春入職した3名の新人から、この道30年超の大ベテランまで、お互いが補完しあいながら、365日24時間忙しく働いています。

さて、医療連携「つつじ」にご挨拶の機会をいただきましたので、東京山手メディカルセンター薬剤部について、すこし紹介したいと思います。現在、私を含め14名の薬剤師がおります。今春入職した3名の新人から、この道30年超の大ベテランまで、お互いが補完しあいながら、365日24時間忙しく働いています。

外来調剤については、原則院外処方としており、地域の調剤薬局へお願いしています。現在、院外処方箋発行率は約95%ですので、私たちの業務の大半は、入院患者さまに対するものへシフトしています。注射薬を含めた入院調剤のほか、高力ロリー輸液、抗がん剤や生物学的製剤の無菌調製では、薬剤部内の専用設備(クリーンベンチ、安全キャビネット)で調製しています。当院は全国的にも炎症性腸疾患の患者さまが多いことで知られています。治療薬である生物学的製剤の無菌調製件数だけでも、入院・外来合わせると1カ月で350件近くあり、1日約17~18名、多いときには20名超の調製を行っています。また、次から次に新しい治療薬が出てくるがん化学療法においても、造血器腫瘍をはじめ、消化器がん、肺がん、乳がん、婦人科がん、骨軟部腫瘍、皮膚がん等、多岐に亘る化学療法が当院では行われていますが、こちらも安全正確な調製はもちろん、レジメン管理などのマネジメントも行っています。

感染対策についても週1回の感染ラウンド(耐性菌・抗菌薬ラウンド)や環境ラウンドに薬剤師が同行し、抗菌薬や消毒薬の適正使用の観点から関わりを持っています。また、地域の医療機関同士のカンファランスや相互評価も定期的に行っています。そのような折、薬剤師の専門性のひとつである、日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師が当院にも近々誕生する見込みですので、今後益々の活躍が期待されることです。

他にも、疾患教育が重要な糖尿病に関しては、糖尿病教室に薬剤師の枠をいただき、こちらも糖尿病療養指導士の資格を持つ薬剤師が治療薬についての解説などを行ったりしています。

一方で、現状では病棟に薬剤師が常駐できていないことが、喫緊の課題でもあります。しかし、これについては、現在薬剤師の増員が予定されておりますので、近い将来改

善される見込みです。入院中は患者さまの状態が刻々と変化しますので、病棟に常駐することで、おのずと薬物療法に関する情報を得ることができます。薬剤師の本分である、医薬品適正使用への関わりの強化はもちろんですが、入院時の薬物療法に関する情報共有にも十分関与できるのではないかと考えています。



近年「病院薬剤師が地域医療連携に関わるためには」についての話題が多く取り上げられ、病院薬剤師の様々な取り組みが報告されています。病院によってその機能もいろいろですので、全てが当院で出来るものではありませんが、地域の先生方から大切な患者さまをご紹介いただき、そのうちの多くの患者さまが、なんらかの薬物療法を受けている状況で、入院されるとき、退院されるときスムーズな薬物療法に関する情報共有については、少なからず病院薬剤師のやること、やるべきことがあるのではないかと考えています。

「薬あるところ、薬剤師あり」と、私がまだ駆け出しのころに、当時の日本病院薬剤師会全田浩会長が話していました。確かに当時は、病院の中で薬剤師のいるところは調剤室の中と限られていましたが、あれから二十数年、いまでは薬剤師が調剤室から病棟へはあたりまえとなり、さらには救急や手術室、外来診療部にも常駐するなど、まさしく薬あるところに薬剤師ありを実践してきました。そして今「薬あるところ」は、患者さまのところであるということで、調剤薬局の薬剤師を中心に、在宅へも出向き、薬の効果や副作用を把握し、処方医へフィードバックしたり、より患者さまに適した剤型への変更や薬の管理方法を提案したりするようになってきています。また年間500億円あると言われている「薬の飲み残し」問題にも、薬剤師の積極的関与が求められています。

今後薬剤師が活躍できる場所はどんどん大きくなることと予想されます。私たち東京山手メディカルセンター薬剤部も、世の中のニーズに則して、変化に順応し、患者さま一人ひとりが安心して医療をうけられるよう、そして、当機構の名称にもあります地域医療機能推進にも積極的に参画していきたいと考えています。



## ▶ 第13回 医療連携講演会

日 時：平成27年9月14日(月)19:30～

場 所：東京山手メディカルセンター 講堂(4F)

(旧)社会保険中央総合病院 新宿区百人町 3-22-1

☎03-3364-0251 (代表)

### プログラム

#### 【開会の辞】

ごあいさつ

19:30～19:35

院長 万代 恭嗣

#### 【講演】

1) 「小児科外来 ～近隣の先生方との病診連携の一助に～」

19:35～20:05

演者：小児科部長 右田 真

2) 「女性を診療する上での注意点

～こんな患者様は産婦人科にご相談ください～」

20:05～20:35

演者：産婦人科部長 坂巻 健

会終了後、情報交換の場を設けております。

こちらにも合わせてご臨席いただきますようお願い申し上げます。

本講演会にご参加いただきました先生方におかれましては、「日本医師会生涯教育講座」1単位(カリキュラムコード：(15:臨床問題解決のプロセス 84:その他)を取得していただけます。

## ▶ 糖尿病教室のお知らせ

糖尿病に関心のある方はどなたでもご参加ください！

会 場：大会議室(3階) 食事会のみ研修センター(2階)

時 間：14:30～16:00 食事会のみ 11:30～13:00

参加費：無料 食事会のみ 1回について800円

### スケジュール

|                 |                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------|
| 2015年 10月 9日(金) | 知って安心！糖尿病<br>担当 医師                               |
| 2015年 10月22日(木) | 食事会<br>担当 管理栄養士                                  |
| 2015年 11月13日(金) | 運動療法のポイント<br>担当 理学療法士                            |
| 2015年 11月27日(金) | 薬物療法とその注意点<br>担当 薬剤師                             |
| 2015年 12月11日(金) | 知って得する！検査の話<br>担当 臨床検査技師・医師                      |
| 2016年 1月 7日(木)  | 日常生活、旅行と災害時について<br>担当 看護師・保健師・医師                 |
| 2016年 1月22日(金)  | 歯周病と糖尿病<br>担当 歯科医師                               |
| 2016年 2月12日(金)  | 糖尿病網膜症について<br>担当 眼科医師                            |
| 2016年 2月25日(木)  | あなたの足は大丈夫ですか？末梢血管病変について<br>担当 心臓血管外科医師           |
| 2016年 3月10日(木)  | 足を守る！<br>糖尿病患者さんのフットケア・神経障害について<br>担当 看護師・保健師・医師 |
| 2016年 3月24日(木)  | 食事会<br>担当 管理栄養士                                  |

当日は メモ、筆記用具、食品交換表(お持ちの方)などをご持参ください。

食事会のみ、事前予約が必要となります。一般的なエネルギー調整食を準備しています(タンパク質の制限には対応しておりません)。1週間前までに内科2外来受付にてお申込みください。

**みなさんのご参加をお待ちしています！**

お問い合わせは  
東京山手メディカルセンター  
内科2外来まで  
代表 03-3364-0251  
(内線 2190)  
月～金 14時～17時

外 来 診 療 担 当 表

平成 27 年 8 月 1 日

※赤字は女医

※ 8/1 変更

| 診 療 科              |              |              | 月         | 火                          | 水           | 木                          | 金                            |              |                  |
|--------------------|--------------|--------------|-----------|----------------------------|-------------|----------------------------|------------------------------|--------------|------------------|
| 内 科                | 午前<br>内科 1   | 1 診 2101     | 循環器       | 笠野健介【循】初診                  | 渡部真吾【循】     | 薄井宙男【循】                    | 薄井宙男【循】初診                    | 仲村太一【循】初診    |                  |
|                    |              | 2 診 2102     | 循環器       | 伊東秀憲【循】                    | 村上輔【循】初診    | 市川健一郎【循】初診                 | 伊東秀憲【循】予約                    | 池ノ内孝【循】初診    |                  |
|                    |              | 3 診 2103     |           | 吉村直樹【炎腸疾】                  | 三浦英明【肝】     | 江本範子【呼】                    | 三浦英明【肝】                      | 山田春木【肝】      |                  |
|                    |              | 5 診 2105     |           | 石森太郎 / 江本範子                | 米野由希子【血】    | 柳富子【血】                     |                              | 大河内康実【呼】     |                  |
|                    |              | 6 診 2106     |           | 高添正和【炎腸疾】                  | 河口貴昭【炎症疾】   |                            |                              | 吉村直樹【炎腸疾】    |                  |
|                    |              | 8 診 2108     | 初診        | 吉本宏 / 三浦英明                 | 吉村直樹 / 田中隆久 | 山田春木 / 大河内康実               | 引間雄介 / 茂田光弘                  | 下村浩裕 / 米野由希子 |                  |
|                    |              | 9 診 2109     | 呼吸器       | 笠井昭吾【呼】                    | 徳田均【呼】      | 小林晶子(リ膠)要予約                | 宮下直也【呼】                      | 徳田均【呼】       |                  |
|                    |              | 10 診 2114    | 消化器       | 木村祐介【消】                    | 田中龍【消】      | 斎藤聡【消】                     | 畑田康政【消】                      | 酒匂美奈子【炎腸疾】   |                  |
|                    |              | 内科 2         | 11 診 2117 |                            | 辻亜紀【糖】      | 杉山雄大【糖】                    | 齊藤寿一【内分】                     | 齊藤寿一【内分】     | 中嶋歩【糖】           |
|                    |              |              | 12 診 2118 |                            | 後藤佐智代【糖】    | 西田潤子(健増)                   | 後藤温【糖】                       | 後藤佐智代【糖】     | 田中隆久【糖】          |
|                    | 13 診 2119    |              |           | 引間雄介【糖】                    | 西村和華【メンタル】  | 吉本宏【腎】                     | 根本康【メンタル】                    | 五十嵐奈央子【腎】    |                  |
|                    | 内科 1<br>2100 | 午後<br>専門外来   | 1 診 2101  | 循環器                        | 村上輔【循】      | 渡部真吾【循】                    | 山本康人【循】                      | 【ペースメーカー外来】  |                  |
|                    |              |              | 2 診 2102  |                            |             |                            |                              |              | —                |
| 3 診 2103           |              |              |           | 吉村直樹【炎腸疾】                  | 山田春木【肝】     | 山田春木【肝】                    | 山田春木【肝】                      | 高添正和【炎腸疾】    |                  |
| 5 診 2105           |              |              | 血液        | 柳富子【血】                     |             | 柳富子【血】                     |                              | —            |                  |
| 6 診 2106           |              |              | CD / UC   |                            |             | 高添正和【炎腸疾】                  | 高添正和【炎腸疾】                    | 吉村直樹【炎腸疾】    |                  |
| 8 診 2108           |              |              |           |                            |             |                            | 市川健一郎【循】                     |              |                  |
| 9 診 2109           |              |              | 呼吸器       | 大河内康実【呼】                   | 石森太郎【呼】     | 笠井昭吾【呼】                    | 徳田均【呼】                       |              |                  |
| 10 診 2114          |              |              |           | 畑田康政【消】                    | 齊藤聡【消】      | 酒匂美奈子【炎腸疾】                 | 酒匂美奈子【炎腸疾】                   | 田中龍【炎腸疾】     |                  |
| 11 診 2117          |              |              |           | 市川健一郎【健増】                  | 齊藤寿一【糖】     | 藤林和俊【糖】                    | 中嶋歩【糖】                       | 引間雄介【糖】      |                  |
| 12 診 2118          |              |              | 糖尿        | 實重真紀【糖】                    | 田中隆久【糖】     |                            | 覚前ゆうき【糖】                     | 田中隆久【糖】      |                  |
| 13 診 2119          |              | 秋山美奈子【腎】     | 今澤知子【健増】  |                            | 下村浩佑【腎】     | 西田潤子【増進】                   |                              |              |                  |
| 大腸・肛門科<br>2160     |              |              | 初診        | 山名哲郎                       | 佐原力三郎       | 古川聡美                       | 岡本欣也                         | 岡田大介         |                  |
|                    |              |              | 再診        | 岡本欣也                       | 山名哲郎        | 岡田大介                       | 佐原力三郎                        | 古川聡美         |                  |
|                    |              | 午 後          |           | 森本幸治                       | —           | 西尾梨沙                       | —                            | 西尾梨沙         |                  |
| 外 科<br>2120        |              |              |           | 2121                       | 日下浩二        | 万代恭嗣                       | 伊地知正賢                        | 日下奇週 / 伊地知週週 | 万代恭嗣             |
|                    |              |              |           | 2122                       | 阿部学         | 柴崎正幸                       | 病理診断科 飯原久仁子<br>13:00 ~ 14:00 | 戸田健夫         | 柴崎 am 一般 / pm 乳腺 |
|                    |              |              | 呼吸器外来     |                            | 宇井了子        | —                          | 森田理一郎                        | 森田理一郎        |                  |
|                    |              |              | 心臓血管外来    |                            | —           | 恵木康壮                       | 高澤賢次                         |              |                  |
|                    |              |              |           |                            |             |                            |                              |              |                  |
| 産婦人科<br>産科<br>2130 |              | 婦人科予約        | 2136      | 大村恵理香                      | 野村香央里       | 樋口紗恵子                      |                              | 坂巻健          |                  |
|                    |              | 婦人科予約        |           | 市瀬菜里                       |             | 小林浩一                       | 後藤美希                         | 本城晴紀         |                  |
|                    |              | 婦人科予約外       |           | 本城晴紀                       | 交代制         | 大村恵理香                      | 【交代制】                        |              |                  |
|                    |              | 産科午前         | 2135      | 樋口紗恵子                      | 【交代制】       | 坂巻 / 本城                    | 【交代制】                        | 後藤美希         |                  |
|                    |              | 産科午後         | 2135      | —                          | 樋口紗恵子       | 本城晴紀                       |                              |              |                  |
| 整形外科<br>2180       |              | 整形           |           | 奇数週のみ                      | 田代、徳山       | 飯島、徳山                      | 飯島卓夫                         | 飯島、田代        |                  |
|                    |              | 脊椎           |           | 栗本久嗣                       | 栗本久嗣        | 仲田紀彦                       | 俣田、仲田 / 早坂 午後                | 早坂豪          |                  |
|                    |              | 脊椎           |           | 【交代制】                      | —           | —                          | —                            |              |                  |
|                    |              | 午後専門外来       |           | —                          | —           | —                          | —                            | 田代膝・飯島腫瘍     |                  |
| 脳外科<br>2140        |              | 脳神経外科        |           | 初診救急のみ                     | 武田泰明        | 高草木宏之①                     | 武田①神保②                       | 紹介救急①(武田)    |                  |
|                    |              | 脳血管内治療科      |           | 小山俊一①                      |             | 紹介救急(小山)                   |                              | 小山俊一②        |                  |
|                    |              | 神経内科         | 2 診       | 馬嶋貴正【神経内科予約】<br>9:00-12:00 |             | 叶内匡【神経内科予約】<br>14:00-17:00 |                              | —            |                  |
| 小児科<br>2110        |              | 午前           | 1 診       | 右田真                        | 右田真         | 右田真                        | 松本多絵                         | 右田真          |                  |
|                    |              | 午前           | 2 診       | 松本多絵                       | 松本多絵        | 松本多絵                       | 田嶋華子                         | 高木篤史         |                  |
|                    |              | 午前           | 3 診       | 交代制                        | 交代制         | 交代制                        | 交代制                          | 交代制          |                  |
|                    |              | 午後 完全予約制     |           | 交代制                        | 交代制         | 交代制                        | 交代制                          | 交代制          |                  |
|                    |              | 健診、予防接種      |           | 交代制                        | 交代制         | 交代制                        | 交代制                          | 交代制          |                  |
| 眼 科<br>2150        |              |              | 2152      | 地場達也                       | 高橋和久・地場達也   | 地場達也                       | 藤野雄次郎・地場                     | 地場達也         |                  |
|                    |              |              |           |                            |             |                            | 午後 宮里佑未                      |              |                  |
| 泌尿器科<br>2170       |              |              | 1 診       | —                          | 加藤司顕        | 加藤司顕                       | 加藤司顕 / 小田金哲広                 | 加藤司顕         |                  |
|                    |              |              | 2 診       | 小田金哲広                      | —           | 小田金哲広                      | —                            | 鮫島未央 / 小田金哲広 |                  |
| 耳鼻科<br>2225        |              | 紹介状ない方は10時まで | 2224      | 1.3.5 週牛尾宗貴                | 堀切教平        | 牛尾宗貴                       | 牛尾宗貴                         | 牧角祥美         |                  |
|                    |              |              |           | 1.3.5 週牧角祥美                | 平野真希子       | 牧角祥美                       | 堀切教平                         | 堀切教平         |                  |
|                    |              |              |           | 2.4 週今井直子                  | 午後 牧角祥美     | —                          | 午後 牛尾(予約)                    | —            |                  |
| 皮膚科<br>2220        |              | 午前           | 2223      | 鳥居秀嗣                       | 仲優          | 鳥居秀嗣                       | 鳥居秀嗣                         | 鳥居秀嗣         |                  |
|                    |              |              | 2222      | 藤井ひかり                      | 藤井ひかり       | 藤井ひかり                      | 藤井ひかり                        | 藤井ひかり        |                  |
|                    |              | 午後           |           | 【手術予約】                     | 鳥居秀嗣        | 藤井ひかり                      | 【手術予約】                       | 【手術予約】       |                  |
| 歯 科                |              |              | 2210      | 中野雅昭 / 熊谷順也                | 中野雅昭 / 熊谷順也 | 中野雅昭 / 熊谷順也                | 中野雅昭 / 熊谷順也                  | 中野雅昭 / 熊谷順也  |                  |

# 総合医療相談室のご案内

## 受診相談・予約／検査予約

### 問い合わせ・申し込み先

総合医療相談室 8:30～17:00

電話 03-3364-0366 FAX 03-3365-5951

## 直接予約できる検査

1. 以下の検査は直接お受けできます。
2. 注意事項などを記載した検査票は、お申込時にFAXにてお送りします。
3. 検査当日、患者様に紹介状をご持参くださいますよう、説明をお願いいたします。
4. レポートは当院専門医が作成の上、1週間以内に先生宛に郵送いたします。
5. お急ぎの場合は、お申し出くだされば各検査責任者より電話にてお知らせします。

### 予約の手順

#### 電話予約

- 検査・診察
- 日時 ● 連絡先 等

#### 当院より直ちにFAX送信

- 予約票
- 注意事項 等

#### 受診当日

診療情報提供書、保険証を忘れずにお越しください。

#### 放射線検査

単純CT 単純MRI・MRA

※CDの場合は直接手渡しできませんので、  
お手元に届くまでに3～5日程お時間を要します。

胃透視 一般撮影  
骨塩定量(骨密度)

#### 内視鏡検査

上部消化管内視鏡  
大腸内視鏡

#### 生理検査

腹部超音波 心臓超音波  
甲状腺超音波 頸部動脈超音波  
ホルター心電図  
脳波

※その他の検査につきましては、総合医療相談室にお問い合わせください。

## 予約可能な診療科

炎症性腸疾患センター、血液内科、内分泌・糖尿病科  
泌尿器科、産婦人科、  
整形外科(脊椎・脊髄センター、腫瘍外来)  
一般外科、乳腺外科、ソケイヘルニア外来、  
あし外来(末梢血管外科)  
大腸肛門病センター(佐原医師のみ:木曜日)  
眼科(当院のIDをお持ちの方)

## 新宿区の肺がん二次健診の 受診時のご協力のお願い。

- 水・木曜日は**呼吸器外科**にて**要予約**。
- 月・火・金曜日は**呼吸器内科**にて**予約不要**。



## 東京山手 メディカルセンター

〒169-0073 新宿区百人町3-22-1

総合医療相談室 ☎ 03-3364-0366

FAX 03-3365-5951

<http://yamate.jcho.go.jp/>



この冊子は環境に  
やさしい有害廃液の  
出ないクリーン印刷  
で作成しています